

朗読絵本

ギロチンと魔獣



日もすっかり落ちて、虫の声と、月の光だけが照らす、
人気のない森の中
裸の少年が一人、縛り付けられています。



奇妙なのは、その少年の開かれた足の間に、
小型のギロチンが仕掛けられていることでした。
小さいながら重そうなその刃は、少年の口に咥えられた紐によって支えられています。
もし少年が、少しでも顎の力を抜けば、その青白い斜めの刃は、少年の大切な所を、
簡単に切り落としてしまうでしょう。

一体何故、この少年は、このような屈辱をうけているのでしょうか。